

緑 GO GREEN でいこう

地球ひとつで生きる

2024/12/11 311を忘れないin静岡



2024/12/21 大学生が見たCOP29



1/7 柏崎刈羽原発の再稼働の是非について
県民投票を求める直接請求署名が14万筆超え



Interview



世界で加速するアニマルウェルフェアとは？ 過酷な環境に置かれる畜産動物から考える

認定NPO法人 アニマルライツセンター
代表理事

岡田 千尋さん

1978年静岡県生まれ。2001年より同法人で調査・キャンペーン・戦略立案などを担い、2003年から代表理事に就任。動物たちの苦しみを効果的に減らすという目的のもと、衣類や食品として扱われる動物や実験動物など、主に産業で利用される動物を救うための活動に注力。「本当の現状を知り、自分自身で判断できる世界」、「人と動物が穏やかに共生できる社会」の実現を目指している。

アニマルウェルフェア…。直訳すれば「動物福祉」で人間が動物を利用するうえで最低限の倫理的責任があり得る限り苦痛や苦悩を与えないよう配慮する必要があるという考え方です。これに関して日本では「動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）」が制定されており、今国会でも次期改正を成立させる動きがあります。しかし、その議論は犬や猫などの愛玩動物に偏っており、畜産動物や実験動物の遵守基準については議論が進んでいません。国際的な基準から大きく立ち遅れています。このことが、私たち自身の生活や社会にどのような影響があるのかアニマルライツセンター代表理事の岡田千尋さんに聞きました。



もっと詳しく ロングインタビュー記事はこちらから

「動物愛護法」の改訂議論の中で、
本当に問うべき問題とは？!

「動物愛護管理法」の次期改正へ向けての国会審議が行われていますが、これは本当に改正といえるのですか？

岡田 改正ではなく、改訂に過ぎないと考えています。同法（当初は「動物の保護及び管理に関する法律」）は、1973年に制定以来、4度にわたって改正されてきました。議論の中心は常に犬と猫の保護。畜産動物や実験動物については、議論すらされてきませんでした。今回もその流れは大きく変わりそうありません。

根本的な問題はどこにあるのでしょうか？

岡田 愛護動物に鶏や豚、牛が含まれていても、畜産動物については条項が一つもなく、行政の立ち入りや命令勧告の規定からも除外されているため、法律の運用に実効性が担保されていないことです。そこで私たちは世界動物保健機関（WOAH）が定めたコードと同レベルの規制に法的強制力を持たせることを訴え、超党派議連の中に立ち上がった動物愛護法改正のためのプロジェクトチームの中で検討を進めてきました。実験動物と畜産動物に関する場合はそれぞれ1回だけでしたが、耳を傾けてくれる議員もいました。ところが、衆議院議員選挙を境にかなりトーンダウンしてしまっています。

畜産動物が置かれている惨状から、
動物福祉と消費の関係性を考える

具体的には、どこをどう変えていく必要があるとお考えですか？

岡田 世界では屠殺（とさつ）する際に、できるだけ苦しみを少なくするために、事前に電気やガスで意識を失わせる「スタンピング（気絶処理）」が義務化されています。一方、日本では約85%以上の食鳥処理場（鶏や鴨の屠殺場）がいまだに事前スタンピングを怠っています。また、養豚における妊娠ストールと養鶏におけるバッテリーゲージも、極めて象徴的な課題です。前者は繁殖用の母豚を妊娠期間中、個別の檻に閉じ込めて単頭飼育する方法。後者は採卵鶏を小さなゲージを積み上げて収容することです。採卵鶏は1羽あたりA5サイズという過酷な環境で卵を産んでいます。海外では、妊娠ストールは禁止、鶏のゲージ飼いで飼育面積を広げ、さらにはゲージ飼育自体を廃止していく方向が示されています。

国内産は安全で外国産は怖いという常識は通用しないという認識は通用しないのでしょうか？

岡田 残念ながら、その通りです。日本では肉用鶏もタイやブラジルなどの1.7〜1.8倍高密度で飼育しており、肉質にも影響が生じています。例えば国産鶏肉の約半分からサルモネラ菌が検出されているのに対して、EUは6.4%、アメリカは24%、ブラジルは18%です。かつ問題なのは、そのほとんどが早く大きくなるように繰り返し品種改良されてきたブロイラーであることです。120日〜150日かけて大人に成長する鶏を、僅か40日ですの大きさにして出荷しています。当然、骨格異常や先

天的疾患を持った鶏も多く、後天的にも多くの病気に罹りやすくなっています。品種改良は万国共通ですが、世界はゆっくり成長させる方向へと切り替え始めています。

養豚場では雄豚に去勢を強いていると聞きますが、何が目的なのでしょう？

岡田 理由は、成長に伴って肉に雄特有の臭いが付くこと。メスやカミソリを使って麻酔なしで去勢手術をします。これに対して海外では免疫的去勢製剤を数回にわたって飲ませる方法、性成熟が起る前段階で出荷するなど、外科的去勢しない流れができてつつあります。日本では、外科的去勢をされていないと低く格付けされてしまうため、まずは業界全体の合意形成が必要で、「せめて麻酔だけでも」と嘆願しています。

牛の状況はどうなのでしょう？

岡田 特に問題視しているのは、乳牛で顕著な「つなぎ飼育」です。700kgを超える体重を、運動なしで支え続けられ、運動器病と呼ばれる脚や骨格に関する病気に罹りやすくなるのはもとより、あらゆる病気にかかりやすくなります。これについては世界動物保健機関の基準を踏襲して、農林水産省が運動させることを推奨していますが強制力がないため、遵守されていないのが実情です。

動物の権利と動物福祉の議論を、
市民の視座から高めていこう!!

最後に日本でアニマルウェルフェアが浸透していかない理由について教えてください。

岡田 日本は海外に畜産物を輸出しません。そのため、世界から技術的に大きく遅れを取っています。また、畜産業においては、肉であれ卵であれ牛乳であれ、必ず動物たちは殺されます。日本人には殺すことを忌み嫌う国民性がある、議論すらままならない状態にあります。生産者ですら自分の手はもとより、目の届かないところで死んでほしいと現実から目を背けています。歴史を鑑みても、それが差別を生む構造につながっています。つまり、市民の認知度が低いだけでなく、企業・行政・生産者の認知度も低いということです。



インタビュー
会津 素子

千葉県成田市議会議員
1978年東京都生まれ。役者、児童養護施設職員、青年海外協力隊（エジプト派遣）障がい者ヘルパーを経て、2011年初当選。議員活動の傍ら、子どもの居場所づくりに取り組む。緑の党グリーンズジャパン千葉県本部共同代表。



韓国の「冬」、何が起きているのか

ユンソンニョル 尹錫悦の「クーデター」以降の韓国の民主主義



キム・ヘミ
(韓国緑の党 前副共同代表)

「非常戒厳」が発令された

2024年12月3日の深夜。年末を迎えてそれぞれの暖かい時間を過ごしていた時、ニュース速報で大統領の顔が突然登場した。そして彼の口からは信じがたい言葉が出てきた。「戒厳」。彼は「非常戒厳」を宣布し、続いて「布告令」を発表した。それは、「国会と地方議会、政党の活動と政治的結社、集会、デモなどの一切の政治活動を禁じる」という文章で始まっていた。間もなく武装した軍人たちが議会に進入し始めた。彼らはヘリから飛び降り、議会の建物の窓を割り、議員たちを逮捕するために議会の内部まで押し入った。そこには、尹錫悦のクーデターを阻止するために、闇を切り抜けて走ってきた市民と各政党の代表、また、緑の党の臨時代表と党員もいた。

議会が戒厳令解除、市民は「広場」を作り出した

市民たちは議会の前に集まり、各自ニュース速報を見ながら、戒厳令が速やかに解除されることを切実に願っていた。それから2時間後、議会は戒厳令を解除した。そして韓国の市民は「広場」を作り出した。12月14日、議会は民主化以降2度目の、大統領の弾劾訴追案を可決させた。しかし、韓国の民主主義を相手としてクーデターを起こした尹錫悦は、法廷による「逮捕令状」にも依然として応じていない。

20・30代女性たちの共感と連帯に学ぶ

民主主義を守ることは簡単ではない。しかし、暗澹たる現実の中でも、民主主義は「可能性」を追求

することができる。アイドルの応援棒を持って広場に集まった20・30代の韓国女性たちの積極的な声がそれを証明する。彼女らはオンラインとオフラインを行き来しながら、共感と連帯の心で織りなした言葉で、社会の他のコミュニティにも話かけている。農民、労働者、社会のマイノリティと共に堂々と歩調を合わせている。これからの韓国の民主主義は、こうした共感と連帯に基づいて現在を省察し、それから学ばなければならない。新しい道を作るための「冬」を、韓国の民主主義は過ごしている。(2025.1.6)



GREENS JAPAN ACTION

2024年12月から2025年1月の活動報告です。

2024/12/21

大学生が見たCOP29

緑デーで、アゼルバイジャンで開かれたCOP29に参加した大学生3人をゲストに招き、大会当日の報告を聞きました。

2024/12/8 311を忘れない

会員発プロジェクト(会員有志の自発的プロジェクト)

「チーム311を忘れない」はチャリティーイベントを行い、登壇3団体に寄付をしました。

連携団体「311を忘れないin 静岡」は12/11街頭募金活動を行ないました。多くの市民が足を止め気持ちをご寄せくださいました。

チャリティーイベント
動画をご覧ください



1/7 県民投票

新潟県の柏崎刈羽原発の再稼働の是非を決める県民投票を求める直接請求署名が14万筆を超え(法定数の約4倍)、県庁記者クラブで会見を行ないました。

共同代表中山均をはじめ、緑のメンバーも県民投票実現をめざして活動が続きます。

COP29に参加して

～温暖化対策は実施の段階に進む時が来た～

高田陽平 (Fridays For Future Fukuoka /九州大学土木工学科3年)

昨年11月にアゼルバイジャンの首都バクーで開催されたCOP29に参加し、海外の若者との連携、実際の交渉に対するアクションを行いました。

気候資金の確保が最優先課題

CO₂の削減や沸騰化した気候に適応するための資金を確保することは、気候交渉で最優先課題になっています。今回、2025年以降の資金に関する新規合同数値目標(通称NCQG)について、資金を必要とする途上国と、資金提供を渋る先進国に大きな意見の隔たりがありました。最終的に2035年までに途上国へ年間3000億ドルの資金を提供することで合意しました。一見とても大きな額かもしれませんが、専門家のニーズ試算による

と途上国全体で年1.3兆ドルの資金が必要で、その3分の1にも満たない金額です。各国はお金がないと言いつつ、世界全体で化石燃料補助金に年1.1兆ドル、軍事予算には年2.4兆ドルも計上しています。資金不足で被害を真っ先に受けるのは温室効果ガスの排出にほとんど寄与していない人々です。現地では最後まで粘り強く交渉し、日本政府に対して責任ある資金提供を求める手紙を提出しました。

右傾化の中で気候危機にどう立ち向かうのか

日本の中でいわゆる「温暖化対策に積極的なリベラル派」であっても、外国の気候資金に自分たちの税金が使われることに反対する人々が一定数います。しかし、こうした認識を私たちは見直すべき

です。むしろ、資金や技術を提供して世界全体の気候変動対策を前に進めることが、最終的に自分たちの環境を守ることに繋がります。COP後も日本各地の草の根活動が続くので、ぜひ皆さんと一緒に声を上げていきたいです。



主な声明・論説 2024年11月～12月

- ◆ 東北に原発はいらない - 女川原発再稼働に抗議します - (11/5)
- ◆ 東電柏崎刈羽原発の再稼働「県民投票」直接請求運動に協力を (11/17)
- ◆ COP29合意 - 途上国への気候支援資金は極めて不十分 日本政府は責任を果たせる金額の支援を (11/24)
- ◆ 香港民主派45人への最高10年の実刑判決に抗議します (12/15)
- ◆ あまりにお粗末でひどい! 政府の第7次エネルギー基本計画原案 - 原発推進・火力延命・再エネ抑制に強く抗議する (12/26)

詳しく知る



緑の党 <https://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026
東京都中野区新井2-7-10サンファスト301
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力お願いします

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967

自治体選挙

1/26	福岡県北九州市議選	村上さとこ	現	サ	推薦	当選
2/2	鹿児島県西之表市議選	沖吉富寛	新	会	推薦	
3/23	静岡県静岡市議選(葵区)	松谷清	現	会	公認	
3/23	静岡県静岡市議選(駿河区)	長沼滋雄	現	サ	推薦	
3/23	静岡県静岡市議選(駿河区)	三宅龍司	新	サ	推薦	

3/23	東京都小金井市議選	坂井えつ子	現	会	推薦
3/23	長野県飯島町議選	坂本紀子	現	会	推薦
3/30	岡山県鏡野町議選	光吉ひとし	元	会	推薦
4/13	広島県庄原市議選	松本みのり	現	サ	推薦
4/20	静岡県伊豆の国市議選	高橋隆子	現	会	推薦
4/20	大阪府能勢町議選	難波希美子	現	サ	推薦

新:新人 現:現職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員